

商品名 ラピアクタ点滴静注液バッグ300mg 医薬品基本情報

薬効	6250 抗ウイルス剤	一般名	ペラミビル水和物注射液
英名	Rapiacta	剤型	注射液
薬価	6197.00	規格	300mg 60mL 1袋
メーカー	塩野義製薬	毒劇区分	

ラピアクタ点滴静注液バッグ300mgの効能・効果

A型インフルエンザウイルス感染症、B型インフルエンザウイルス感染症

ラピアクタ点滴静注液バッグ300mgの使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 腎機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
3. 腎機能障害	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
4. 細菌感染症又はその恐れ・疑い、循環器系機能障害、心臓機能障害、腎機能障害を有する小児等	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ラピアクタ点滴静注液バッグ300mgの副作用等

1. ショック、アナフィラキシー、血圧低下、顔面蒼白、冷汗、呼吸困難、じん麻疹、劇症肝炎、著しいAST上昇、著しいALT上昇、著しいγ-GTP上昇、著しいAl-P上昇、肝機能障害、黄疸、急性腎障害、精神・神経症状、意識障害、譫妄、幻覚、妄想、痙攣、異常行動、肺炎、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、血小板減少、出血性大腸炎	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 白血球減少、好中球減少	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満

3. 下痢	記載場所	その他の副作用
4. 血管痛	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
5. 発疹、湿疹、じん麻疹、悪心、嘔吐、腹痛、食欲不振、腹部不快感、口内炎、AST上昇、ALT上昇、LDH上昇、ビリルビン上昇、 γ -GTP上昇、Al-P上昇、蛋白尿、尿中 β 2ミクログロブリン上昇、NAG上昇、BUN上昇、リンパ球増加、好酸球増加、血小板減少、めまい、不眠、血中ブドウ糖増加、尿中血陽性、CK上昇、尿糖、霧視	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
6. 肝機能障害、黄疸	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
7. ショック、アナフィラキシー、流産、早産	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』